

のうがくかい
「なごやか農楽会」だより 81号
2025年2月（春）号



2024年度（23期生）修了式

- ◇ なごやか農楽会からのお知らせ
～ 2025年度（24期）総会開催のご案内 ～
- ◇ 援農作業予定 （3～5月）
- ◇ 援農作業実績 （11～1月）
- ◇ 名古屋の農業を知る／あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

令和7年度（24期）なごやか農楽会総会のご案内

令和7年度（24期）なごやか農楽会総会を下記ように開催いたします。

令和7年4月27日（日）13時30分 総会開催

開催場所は、従来通り「名古屋市農業センターの指導館」にて通常通り午後 全体で開催します。具体的には次頁をご覧ください。

農業ボランティア育成講座（23期生）修了式が、2月1日開催され、修了生（25名）がなごやか農楽会に入会されます。

なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会総会 ご案内

1. 開催日：令和7年4月27日（日）
2. 時間：13時30分～15時30分 総会
（受付13時00分～）
15時40分～16時40分 支部総会
3. 会場：名古屋市農業センター 指導館・講習室
支部総会：講習室・実習室に分かれて開催
4. 駐車料金：農業センターリニューアル後は、土・日の駐車料金は500円（1時間以上）となりましたのでお含みおきください。
5. その他：令和7年度なごやか農楽会の総会運営は会則に基づき会長が評議会に提案し評議会において審議の上決定させていただきます。
・当日は名札（修了証）を着用願います。
・総会直前の総会のご案内は行いません。
（本日よりにてご案内に替えます）ご承知願います

（お願い）

- ・総会受付にて令和7年度会費1,000円をお支払いください。
- ・当日欠席の方は4月30日までに以下の口座へ振込みをお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行振替（記号12100）

口座名：なごやか農楽会

種類：普通口座 番号68446931

（他銀行からは、店番218—6844693）

（注1）当日、総会受付で代理徴収が出来ます。

（総会に参加されるお知合いの会員に会費をお預けし、お知合いの会員が代わりにお支払い頂く方法です。）

なごやか農楽会ホームページリニューアルのお知らせ

なごやか農楽会ホームページは、リニューアルに向けて農楽会HP運営委員会で、作成作業・運営方法の検討を進めてきましたが、4月を目処に公開する運びとなりました。新しいホームページのURL、会員ページのパスワードは、公開時点でお知らせします。



評議会報告

報告・審議・検討事項

11月度会議（11月9日開催）

（1）活動実績（2024年10月度）

（2）農業センターまつり出展について 場所昨年と変更となり、広場東側になった。天気の良かった11月3日を中心にチラシを配布。イベント、出展が変更になり来客層が若くなった。ボランティア育成講座の出展はなかった。

（3）11月17日研修について 18名参加（家族含め20名）の申込あり。

（4）みどり支部の農家のみかん畑（みかん30本ほど）を、春の剪定から消毒、収穫まで全て任せたいとの話しをいただいている。都市農業課同行で訪問し詳細確認することとする。

（5）中間決算の内容を確認した。

（6）第24期農楽会総会に向けて今後のスケジュールについて 確認した。

総会開催日 2025年4月27日（日）午後から
場所 名古屋市農業センター 講習室・実習室

1月評議会（1/11）総会・運営・手順について

2月評議会（2/1）決算報告（仮）案について
午後ボランティア育成講座修了式

3月評議会（3/8）総会資料最終確認

4月評議会（4/12）総会資料最終版確認

総会資料コピー・準備等の作業 4/19実施

12月度会議（休み）

1月度会議（1月11日開催）

（1）11月17日実施の研修会の参加人数 会員21名に家族2名の計23名参加。。

（2）23期生の所属支部について農業センターから連絡あり、修了生25名で、てんぱく支部13名、みどり支部2名、もりやま支部5名、港・中川支部5名の配属となる。

（3）JAなごやへ11月26日、深尾、久野、川合、佐藤、都市農業課 早川で訪問。紹介いただいた新規援農先の対応状況を報告し、引き続き新規援農先紹介をお願いした。。

（4）第24期総会開催当日の運営とスケジュール担当割詳細は3月評議会にて決定、決算見込について1月中に会計にメールで報告することとした。

（5）援農塾発足から4年が経過し、発足時の目的とズレが生じており、自前で人材を育てることに限界があり援農塾を修了（または休止）したい旨提案。技術の向上や皆で楽しむことはできたが、リーダーを育てることは難しいため、終了することを確認。管理については新しい方法を考える。援農塾塾生には1月18日の援農塾総会で説明する。

（6）新HP公開について技術的な問題があり、それを解決しなければならないが、この部分が解消した場合新HPを公開する。

（7）新規援農先候補 深谷正充さん（みかん・水稻）について 横井支部長から訪問状況（都市農業課 早川さん同行）について報告あり。

援農作業予定 (3～5月)

てんぱく支部



ブドウの花切り



ニンジン収穫

3月
ニンジン収穫

4月
カボチャ、トウモロコシの定植

5月
ブドウの花切り
タマネギ収穫

みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

3月
成田果樹園 ミカンの整枝剪定
榎原幹男様 野菜の計量と袋詰め

4月
深谷兼彦様 サツマイモ畑の耕運作業

5月
深谷兼彦様 サツマイモ畑の定植作業



援農作業予定 (3～5月)

もりやま支部



ブドウ ジベレリン処理



剪定枝粉碎

3月
ポット土入れ、イベント出張販売手伝い、
ブドウつる切り、カンキツ類収穫、
ジャガイモ植付、
ウメ・ブルーベリー剪定枝粉碎 など

4月
トマト・ミニトマト収穫、ポット土入れ、
ブドウつる切り、ブルーベリー摘蕾、
キンカン収穫 など

5月
ピーマン紐吊り、ナス定植、
ブドウ房づくり・ジベレリン処理、
ブルーベリー園天井ネット張り など

港・中川支部



キュウリ誘引



ピーマン結束

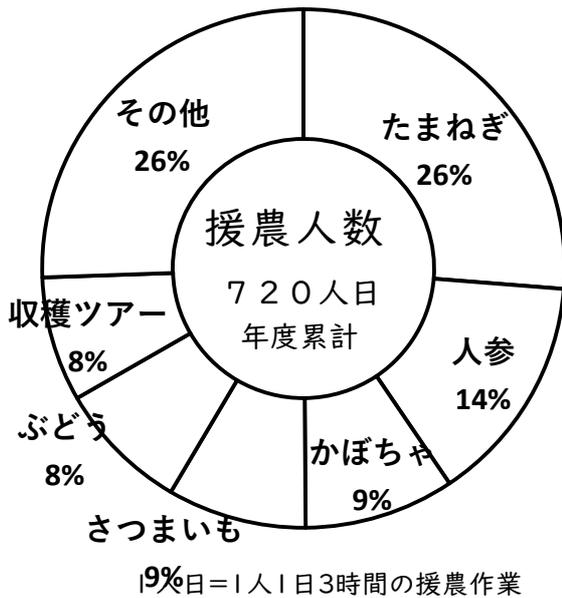
3月
トマト箱作り、ミツバの出荷調製、野菜畑の除草
野菜収穫 (サトイモ、ニンジンなど)
野菜播種 (トウモロコシ、エダマメなど)
野菜苗の鉢上げ (カボチャ、キュウリなど)
ジャガイモ植付け、エダマメ定植・土寄せ

4月
トマト箱作り、ミツバの出荷調製、野菜畑の除草
エンドウの収穫、キュウリの誘引
野菜播種 (トウモロコシ、エダマメなど)
野菜苗の鉢上げ (カボチャ、ゴーヤなど)
野菜苗の定植 (エダマメ・トウモロコシなど)

5月
トマト箱作り、ミツバの出荷調製、野菜畑の除草
エダマメの選別、サツイモの芽挿し
ジャガイモ収穫、野菜の定植 (キュウリ・ナスなど)
キュウリの誘引、カボチャの敷き藁

援農作業実績 (11~1月)

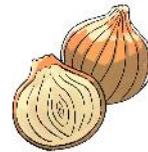
てんぱく支部



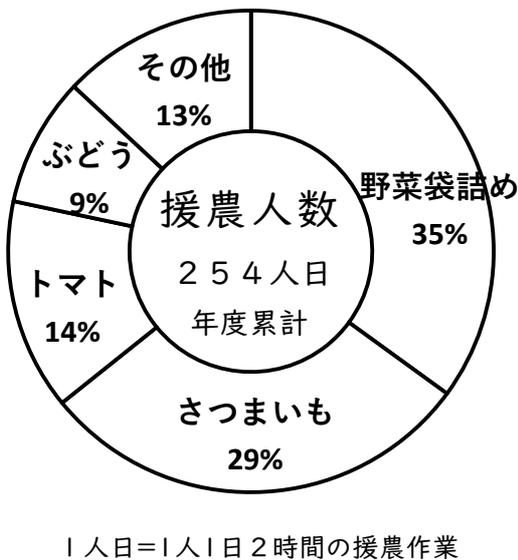
三か月間(11月~1月)の援農実績は、261人日。
年度累計は、720人日。
三か月間の援農先は、6農家。

援農作業は、人参切り、梅の剪定、玉ねぎの定植、さつまいも掃除等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 222人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 740人日



みどり支部



三か月間(11月~1月)の援農実績は、68人日。
年度累計は、254人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、園児(年小・中・長)のさつまいも収穫手伝い、野菜の収穫・袋詰め等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 59人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 185人日



援農作業実績 (11~1月)

もりやま支部

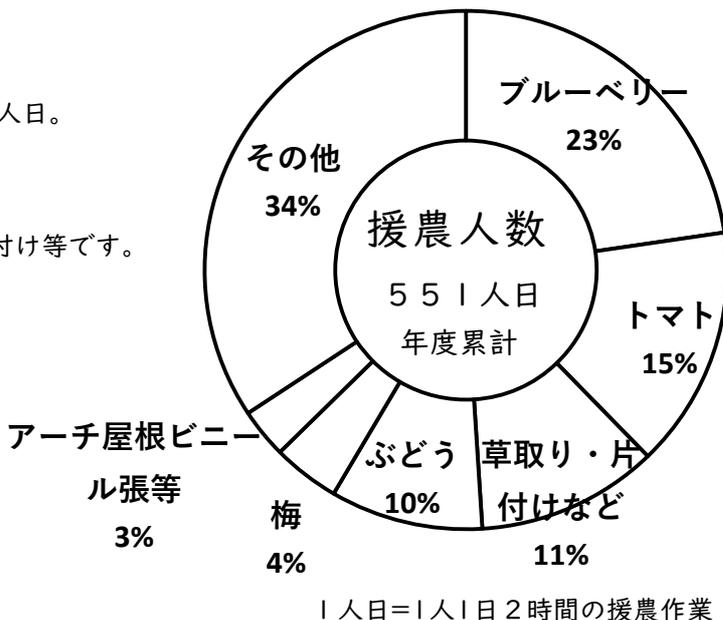
三か月間(11月~1月)の援農実績は、125人日。
 年度累計は、551人日。
 三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、梅剪定、ブルーベリー剪定、畑片付け等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 111人日
 昨年度(4月~1月)の累計実績 515人日



ビニールハウス屋根の張替え



港・中川支部

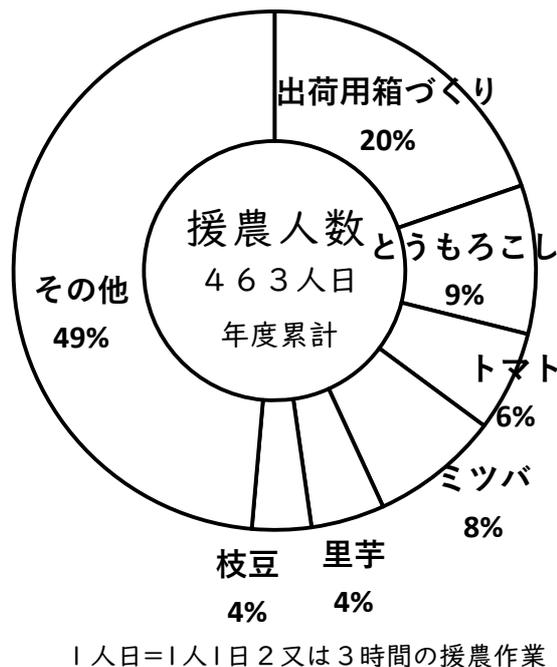
三か月間(11月~1月)の援農実績は、140人日。
 年度累計は、463人日。
 三か月間の援農先農家は、5農家。

援農作業は、ブロッコリー収穫、里芋収穫、ミツバの出荷調整、収穫体験手伝い、野菜の販売補助、草取り等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 129人日
 昨年度(4月~1月)の累計実績 527人日



ミツバ植付け



「名古屋の農業を知る」

名古屋市の農業の課題

(農地の減少と都市機能の配置、小規模な農地の点在、生産緑地の課題、販売先の確保、市民とのつながり不足)のうち、「小規模な農地の点在」について考えます。



名古屋市において小規模な農地が点在する主な理由としていくつか挙げられます。

- ・ **歴史的要因** 名古屋市やその周辺地域は長い歴史を持つ地域であり、昔から続く小規模な農業経営が多くあります。これらの農地は世代を経て分割され、点在する形になりました。
- ・ **土地の相続** 農地が家族間で相続される際に、農地が分割されて小さくなっていくことが一般的です。その結果、複数の小規模な農地が点在するようになります。
- ・ **都市化の進行** 農地が住宅地や商業施設に転用されることが増えています。都市開発のために農地が減少し、小規模な農地が残る形になることがあります。
- ・ **土地利用規制** 都市計画や土地利用規制により、大規模な農地の集約が難しく、小規模な農地が点在する結果となることがあります。
- ・ **経済的な負担** 農業経営が経済的に厳しくなっているため、農地を売却することが増えています。

農地の分散が農業生産性に与える影響は

機械化の困難: 農地が分散していると、機械を使った効率的な農業が難しくなります。

特に、広範囲にわたる作業が必要な場合、機械の導入が非効率的になり、生産性が低下します。

労働力の分散: 農地が分散していると、労働力を効率的に配置することが難しくなり、作業の重複や無駄が生じることがあります。

輸送コストの上昇: 農地が分散していると、収穫物を市場に運ぶための輸送コストが増加します。これにより、全体の生産コストが上昇し、利益が圧迫されることがあります。

管理コストの増加: 複数の農地を管理するためのコストも増加します。特に、異なる場所で作業を行う場合、管理が煩雑になり、効率が悪化します。

作物の品質低下: 分散した農地では、作物の管理が難しくなり、品質が低下することがあります。特に、病害虫の管理が不十分になると、作物の収量や品質に影響を与えます。

土壌の劣化: 農地が分散していると、土壌の管理が難しくなり、土壌の劣化が進むことがあります。これにより、長期的な生産性が低下する可能性があります。

水資源の無駄遣い: 分散した農地では、灌漑や水管理が非効率になり、水資源の無駄遣いが生じることがあります。

次回は「生産緑地」について詳しく見ていきましょう



はじめよう！ 家庭菜園 (*1)

今月号では保存・貯蔵について勉強していきましょう。

土に埋めたり、干したりとそれぞれの野菜に合った方法で貯蔵すると無駄なく食べることができますよ。

1. どんな保存・貯蔵方法があるの？

◇屋内で保存する場合

- ・ キャベツ、白菜：新聞紙に包み、段ボール箱に入れておく
- ・ 大根、ニンジン：穴開きポリ袋に入れて立て掛けておく
- ・ 長ネギ：土がついた状態のまま、ポリ袋などに入れて、立て掛けておく
- ・ イモ類：陰干しして乾かしてから、発砲スチロールのとり箱に入れておく

◇冷蔵庫で保存する場合

- ・ ホウレンソウなどの葉物野菜はポリ袋に入れ、立て掛けておくのが原則

◇畑や庭で保存する場合

- ・ キャベツ、白菜：株をぴったりと並べ、わらや落ち葉で覆いその上におしりを掛ける
- ・ さといも：温暖地では畑から掘り上げなくても土を厚く掛けておけば十分冬を越えられる

◇土中貯蔵の場合

- ・ 大根、ニンジン：土をつけたまま葉を切り落とし、深さ20~30cmの穴に斜めに寝かせて土を掛ける
- ・ サトイモ、サツマイモ：排水の良いところに深さ60cm程度の穴を掘る

2. 冷蔵庫に入れない方が長持ちする野菜って？

手ジャガイモやタマネギなどは冷蔵庫に入れず光を遮った状態で保存する方が長持ちします。

暑い時期など部屋が高温となる場合、ジャガイモは新聞紙で包んだ後、ポリ袋に入れて野菜室に入れましょう。

玉ねぎは密封すると傷むので風通しの良いところで乾燥させるのがベストです。

また、カボチャのカットしたものは切り口から劣化するので、ラップに包んで野菜室に入れなければなりません。

ただし、丸ごと保存する場合は室温で保存しましょう。

一方冷蔵庫に入れてはいけないのがサツマイモです。根菜としては低温障害が出易いので、夏でも冷蔵庫に入れないようにしましょう。次回からは、野菜に合わせた栽培方法を紹介していきます。お楽しみに。



(*1) はじめよう家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。

あいちの伝統野菜

あいちの伝統野菜は、2020年2月号から今月号まで5年に亘り掲載いたしました。あいちの伝統野菜の紹介を続けることができましたのも愛知県農業水産局農政部園芸農産課野菜・果樹グループ様、あいち在来種保存会代表世話役人高木幹夫様のご支援、ご協力のおかげです。誌面を借りて感謝申し上げますとともにご支援、ご協力を頂きました愛知県様の取組みや高木幹夫様のご活動などを本号にてご紹介させていただきます。

・あいちの伝統野菜の認定などについて

愛知県は、古くから交通の要衝でもあったため、経済的・文化的発展とともに全国各地からさまざまな野菜や種が集まり、野菜づくりが盛んに行われてきました。こんな土地ですから、愛知では行き交う人に売る野菜を、また東京と大阪には売られた立地なので、ほしい所に売る野菜をと、ドンドン新しいものを作ってきました。

これらの古くから栽培されてきた野菜、親の代では食べていた野菜を今は食べないという事態になっていることに気づき、これではいけない、再び身近な野菜として利用されるよう地元を見直そうという活動を平成14年度からスタートさせ、愛知県農業水産局農政部園芸農産課様が「あいちの伝統野菜」として認定を行っています。「あいちの伝統野菜」の定義は、以下の4つの条件を満たすものです。

(1)昭和30年頃に栽培されていたもの(2)地名、人名がついているものなど愛知県に由来しているもの(3)今でも種や苗があるもの(4)種や生産物が手に入るもの
令和5年に「土田かぼちゃ」と「徳重だいこん」が追加され「あいちの伝統野菜」は37品種になっています。

・あいち在来種保存会の活動について

高木幹夫様があいち在来種保存会の代表世話人です。「あいち在来種保存会」は、40年以上継続してきた在来種の採種・栽培、伝承活動の集大成として平成25(2013)年にスタートしています。カロリーベースでの自給率についてはマスコミ等々に登場する機会が多いですが、種子の自給率については報道量も少なく無関心状態にあります。実体として日本で販売されている種子の90%近くが海外で生産されている現状があります。(略)京野菜、加賀野菜などを継続生産するために海外で採種されたF1種子が登場している現状のなかで「種から国産」の伝統野菜栽培を理念にした組織が「あいち在来種保存会」です。「あいちの伝統野菜」に認定された37品目を絶やすことなく、またF1種ではなく地元で採種作業を続けている組織です。あいちの伝統野菜の写真は全てあいち在来種保存会様にご提供頂きました。



あいちの伝統野菜

あいちの伝統野菜
イメージアップマーク

野菜を積んだ大八車を三英傑が協力してひいてくる姿が時代を越え次世代へ継いでいく「あいちの伝統野菜」を表現しています。

基本カラーは愛知の「肥沃な土」を意味する「こげ茶」としました。色は「和」と「自然」を意識し「日本の伝統色」の中から選びました

このマークにより「あいちの伝統野菜」をより知っていただきたいと願っています。

・日本の野菜文化史事典について

日本の野菜文化史事典(青葉高著八坂書房2013)は、愛知の伝統野菜を掲載する際、最も参考とさせて頂いた書籍です。八坂書房HPで日本の野菜文化史事典及び著者について次のとおり紹介されています。

日本の食文化を支える代表的な野菜約80種を取り上げ、その起源、伝播、日本への渡来、栽培、品種、食味等から再考。奈良・平安時代に利用され、現在はほとんど栽培されていない古典野菜30種(ハコベなど)について、特徴や栽培、利用法などを詳述した。新品種育成の陰に滅びゆく野菜を悼み、野菜に秘められた文化財的意義を問い直す、著者渾身の野菜文化論の集大成!

青葉 高(あおば たかし)1916年埼玉県生まれ。1937年千葉高等園芸学校卒業。1964年山形大学農学部教授1976年千葉大学園芸学部教授。1982年退官。1989年勲三等旭日中級章受章。農学博士。専攻: 蔬菜園芸学1999年死去

「野菜は文化財である」について

山形大学農学部江頭宏昌教授(山形在来作物研究会会長)は「特産種苗 第20号(2015.4月)」「公益財団法人 日本特産農作物種苗協会」の中で青葉高先生は「野菜の在来品種は生きた文化財」であるという言葉を残し、経済性や効率性とは異なる尺度で遺伝資源を保存することの重要性を早い時代から訴えてこられた。

「文化財」はそれが継承されることで、渡来経路の自然条件や伝播先の人々の歴史や文化を伝えるものという意味である。青葉先生の志を受け継ごうと2003年山形大学農学部教職員有志が山形在来作物研究会を設立し山形県内外の在来作物の研究や保存活動などに積極的に取り組んでいると書かれています。



あいちの伝統野菜



あいち在来種保存会・あいちの伝統野菜畑から(ブログ)

編集後記

農業センターしだれ梅まつりは2/15(土)から3/9(日)まで行われます。今年は、寒さの影響で2/23現在まだつばみです。駐車料金は1000円ですので開花状況を確認してからお出かけください。寒さもまだ続きますのでしばらくは防寒対策をして援農してください。今年の総会は通常通りの実施です。これからだんだん暖かくなってくると農作業の季節となります。援農にいそしんでいきましょう。

発行 **なごやか農楽会事務局** (水野・佐藤) 令和7年2月25日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。